

オリーブ 30周年記念事業：特別講演会

技能実習制度から育成就労制度へ ～ 日本語教育の重要性 ～

外国籍の方を街中で見かけるのは日常の風景となりました。特に日本の工場では実習生と呼ばれるベトナムなど東南アジアの人たちが多く働いています。

オリーブは、1994年から外国の方々に日本語を教えてきました。しかし、彼らの働く環境や就労制度についてあまりに知らないことが多いので、今回入管法改正を機に専門の先生を招いて学ぶことといたしました。日本語教育に携わる人のみならず多くの方に働く外国人の現状を知っていただきたいと思います。



講師 齊藤善久 氏

(神戸大学大学院国際協力研究科 准教授)

【齊藤善久】

神戸大学大学院国際協力研究科・准教授

1970年、岡山県生まれ

北海道大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学

日本学術振興会特別研究員（PD）、北海道大学大学院法学研究科助手、講師を経て、2009年から現職

専門は、労働法（日本・ベトナム）、外国人労働者政策

NPO法人日越交流センター兵庫、NPO法人日越ともいき支援会・顧問、神戸移民ユニオン・執行委員長

- 日時 **2024年7月14日(日) 午前10時～12時**
- 場所 **キラリ草津（草津市立市民総合交流センター）
5階（502・503号室）**

※ できるだけ公共交通機関をご利用ください。

- 参加費 **500円** ※ 当日お支払い下さい。
- 申し込み **QRコードからお申込み下さい。→**
- 申込期限 **7月10日(水)まで**
- 主催 **オリーブ**
- 問い合わせ **olive932olive@gmail.com**

